



平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

王寺町長 植田 忠行
(公印省略)

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付、国道企第114号にてご依頼のあった標記の件
について別紙のとおり回答いたします。

1、重点化を進める上で、特に優先度の高い道路政策は何か？

(今後取り組むべき政策のプライオリティに関する問いかけ)

① 渋滞対策

奈良県のような、県域の4分の一の平野部に人口と交通が集中し、しかも三本の高速道（西名阪、第二阪奈、南阪奈）が東西に走っている地域では、高速道を南北に結ぶ地域の基幹道路の利用が急増し、整備が必要不可欠であります。産業、観光においても、高速道を利用して県内の各地を訪れる人が多く、渋滞の解消とモビリティの向上を図るため、高速道のインターチェンジ間を結ぶ地域の基幹道路の整備を引き続きお願いしたい。

現在、県において、町内の国道168号の改修を進めていただいておりますが、引き続き、王寺町南の香芝インター、北の南生駒インターを結ぶ国道168号の整備を進めていただくと共に、直轄国道25号（斑鳩バイパス）の早期整備をお願いいたします。

② 交通結節点の道路整備を

王寺町は、西和地域の玄関として、JR王寺駅をはじめ近鉄王寺駅が集まる総合ターミナルの性格を持つ地域であり、西和地域住

民の交通の結節点として大変重要な町であります。

本町には、交通の結節点として交通アクセスを整備することが求められており、道路は、王寺町民はもとより周辺市町住民の生活基盤として、地域の発展と安全・安心のための最も重要な公共施設と考えている。

2、効率化を徹底的に進める上で、重要な事項は？

(コスト削減や無駄を排するなど、道路政策や道路の整備における効率化のポイントに関する問いかけ)

道路の管理については、沿道の住民やNPOなどが清掃や花壇づくりなど、住民のできる範囲での活動を長く続けることができるよう、行政側からの環境づくりが大切ではないかと思えます。

道路や公園を大切に美しくしようと、住民の参加する活動を町づくりのひとつとして、行政側から支援していくことで、運動を継続させることができる。

第一に住民の方々からは、「山間地域に立派な道路ができています。我々の通行量の多い道と同じような道路が要るんですか。」といったお声です。

やはり、地域が必要とする道路整備が、地域の理解が得られ地域

にマッチして始めて、効率化と言えるのではないのでしょうか。

3、その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見。

道路特定財源の見直しについては、道路整備に必要な額以上については一般財源に振り向けられる計画だが、大都市・地方を問わず道路の必要性は大きく、まず制度ルールの検討見直しを行うことが先決であり、また、納税者への十分な説明も必要と考えます。